

あなたなら きっと できる！

Yes、You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第7号 令和元年9月20日発行

～現場実習を終えて

夏季休業中、高等部 A コースの生徒達は現場実習で企業等に行ってきました。実習先は以下のとおりです。

<ご協力頂いた実習先>

アウトドアカフェ山小屋 アクサ生命保険 植竹幼稚園 ERA不動産 富士特殊電気産業 日産自動車
大宮シテクリニック 木下製館 悠楽里さいたま IHI JTB 全農・キューピー・エッグステーション

<実習の流れ>

①実習先の決定⇒②実習先との事前打ち合わせ⇒③実習⇒④反省会⇒⑤お礼状書き・送付

<実習に関すること>

○事前打合せ…実習先まで電車等を利用して行く時に、利用駅等を自分で確認している生徒はほとんどいませんでした。これだけインターネットが普及して簡単に情報が得られる時代であっても、自分が興味を持たなければ必要な情報は得られません。乗り換える駅、かかる費用など調べておきたいですね。さらに、会社の情報等も調べられると実習への意欲も高まります。また、必要なことをメモをする習慣も身につけて欲しいと思います。実習の時間や持ち物などメモをしておくと、後で確認することができます。日頃から話を聞く時に大事なことはメモをするよう心掛けてください。



○実習…あいさつですが、自分ではしっかりしているつもりでも、相手がどう受け取るかはわかりません。



目を見て笑顔であいさつができることが大切です。また、分かった時に「はい」と言う・頷く反応をすることも大事です。時間を守るということについては、ほとんどの人が良くできていました。中には遅刻をしてしまった生徒もいますが、その状況になってしまった時にどこに連絡をすればよいか対応できることが大切です。今後は早めに行動するようにし、万が一の時は落ち着いてやるべきことを考えて下さい。

また、働くことの大変さを学ぶことができましたね。学校は50分の授業で、1時間毎に様々な教科に変わっていきます。しかし、仕事はずっと同じことを繰り返し行うことが多く、時間も長く、しかもずっと立って（座って）いなければなりません。今まで経験したことのない苦しさだった人もいるかもしれません。でも、これが仕事というものなのです。今回の経験で、自分にとってどんな進路がいいのか？考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



○お礼状…便利な時代であるからこそ、メールではなく手紙で感謝の気持ちを伝えることが大切です。日頃、使うことがない丁寧な言葉を使い、ペンで書くのはとても大変でした。実習先の聴覚障害の先輩から、日本語力（文章力）をしっかりとつけるように言われた生徒もいます。感謝の気持ちを文章で表現することは難しいことですが、社会人になる前に知っておくと、大変役に立ちますよ。便箋を三つ折りする、手紙を郵便ポストに投函する…まずは経験をしないと分かりませんからね。

実習の反省会で課題として挙げられたことは意識して改善し、良かったことは伸ばしていくことが大切です。この実習で得たことを、今後の生活に活かして欲しいと思います。